

令和元年度

教育委員会定例会（6月）議事録

四條畷市教育委員会事務局

教育委員会定例会

1 開催日時・場所

令和元年6月26日(水) 10時00分から11時31分

四條畷市役所 東別館2階 201会議室

2 出席委員

教 育 長	植田 篤司
教育長職務代理者	山本 博資
委 員	吉田 知子
委 員	竹内 千佳夫
委 員	小田 みゆき

3 事務局出席者

教育次長兼教育部長	開 康成	教育部上席主幹(教育総務担当)兼学校教育課人権教育・教科指導担当課長兼教育センター長	木村 実
教育部次長兼青少年育成課長兼主任	阪本 武郎	生涯学習推進課上席主幹(生涯学習推進担当)兼主任	村上 始
教育部次長兼学校教育課長	上井 大介	公民館長兼主任	神本 かおり
教育総務課長	板谷 ひと美	図書館長兼主任兼田原図書館主任	田中 学
生涯学習推進課長	安田 美有希	学校給食センター所長	林 雅弘
		教育総務課主任	古市 靖之

4 議事録作成者

教育総務課 古市 靖之

5 付議案件

報告 第16号 四條畷市立なわてふれあい教室条例の一部を改正する条例について
その他 教育部主要施策の進捗及び今後の方向性について
教科書採択にかかる進捗状況の報告について
学校再編に伴う対象校の交流について

植田教育長	<p>それでは、委員の皆さま方、定刻になりました。</p> <p>ただいまから、6月の教育委員会定例会を開催いたします。</p> <p>それでは、四條畷市教育委員会会議規則第5条第2項の規定に基づき、会議録署名者の指名を行います。</p> <p>本日の会議録署名者は、吉田委員にお願いいたします。</p>
植田教育長	<p>それでは議事に入ります。</p> <p>報告第16号 四條畷市立なわてふれあい教室条例の一部を改正する条例についてを議題といたします。</p> <p>事務局から、本件の内容説明をお願いいたします。</p>
阪本教育部次長兼 青少年育成課長兼 主任	<p>報告第16号 四條畷市立なわてふれあい教室条例の一部を改正する条例についてでございます。</p> <p>令和6月の市議会定例議会で上程しました四條畷市立なわてふれあい教室条例（平成11年条例第28号）の一部を改正する条例について、全会一致で可決されたことを報告します。</p> <p>続きまして、本日の案件ではございませんが、報告事項がございます。</p> <p>現在、各ふれあい教室において、定員の弾力運用を行っても、なお待機児童が12人発生している状況です。これに伴い、夏季休業の追加申込が実質できない状況となっております。</p> <p>このようななか、保護者の方からの要望、また、先の市議会定例議会において、複数の議員より何とか対応いただきたいというご意見を受け、現在、改めてこの対応策について市長部局と交えて、検討に当たっているところで</p>
植田教育長	<p>本件について、質疑等ございましたら、お願いいたします。</p>
山本教育長職務代理者	<p>待機児童12人について、今後どのように対応しますか。あるいは、対応ができるのでしょうか。</p> <p>また、今年度の夏季休業中の申込みについては、早急に対応しなければならないと考えていますが、昨年度、どれぐらいの申込みがあったのか、また今年度の方針について、教えていただきたく思います。</p>
阪本教育部次長兼 青少年育成課長兼 主任	<p>7教室のうち4教室で待機児童が合計12人発生している状況です。通常であれば、お子様がふれあい教室を退所されて、空きが出てくれば順次入所ということになっています。</p> <p>ただ、今回は、仮に夏休みの体制を組むとすれば、12人の児童も同時に入室のご案内をしていく必要があると考えています。</p> <p>具体的には、まず、現場の弾力対応のなかで、定員を越えて預かっていた</p>

<p>(阪本教育部次長兼青少年育成課長兼主任)</p>	<p>だいているので、なお定員を超えても待機の解消ができるのかという問題、また、ご希望とは違う教室に入所していただく問題が考えられます。一番の問題は人員の確保であり、急務であると捉えています。</p> <p>昨年度の夏季休業中の入室人数について、夏休みに何人入室という算定はしておらず、7月1日と8月1日の比較という表現方法となりますが、昨年度では7月1日と8月1日の差が62人増、一昨年では差が35名人でした。</p> <p>今年度は、そういった年度の変動や場所の変動が多いが、30～40人増と推測しています。</p>
<p>小田委員</p>	<p>人員の確保について、公に募集をかけているのでしょうか。どのように募集しているのか方法を教えてください。</p>
<p>阪本教育部次長兼青少年育成課長兼主任</p>	<p>全庁的にも一般職、技術職、助産師等の欠員もあり、そのなかで、ふれあい教室の指導員の公募もYouTubeやホームページで公募を5月から6月12日まで行いましたが、ふれあい教室の指導員の応募は0でした。</p> <p>指導員の補佐や障がいのある児童を担当する支援員も独自募集を行いました。補佐と支援併せて、学生含めて9人の採用が内定しています。</p> <p>ただ、補佐と支援は時間が短く、資格要件も違い、また1週間連続で出勤できなかつたり、学生の場合も学業の合間の午前中に出勤する等、9人の配置では新規の児童受入れをすることができない状況です。</p>
<p>山本教育長職務代理者</p>	<p>大変ご苦労されていることと感じます。</p> <p>受入れができないということだが、7月に入ってから夏季入室募集をされると思うが、30～40人程度見込みがあるということなので、是非何らかの方策でご検討いただき、一層の努力をお願いしたい。</p>
<p>竹内委員</p>	<p>夏休みにたくさん申込みされる方がいると予想されますが、現在も低学年の児童を優先して入室するルールはあるかと思いますが、もう少しそれを強固にして、例えば以前では入室は3年生までで、待機児童の発生がある状況では1年生の児童を最優先に入室して、なお余裕できたら上の学年の児童を入室させていくようにしていたと思います。低学年優先を中心にしたらどうでしょうか。</p>
<p>阪本教育部次長兼青少年育成課長兼主任</p>	<p>現在、通常のふれあい教室の入所は、申込が超過した場合は、優先順位があります。</p> <p>1年生、2年生の低学年が優先です。障がいのある児童も、ある一定のタイミングで優先しています。まずは、低学年が第一優先というところです。</p> <p>また、今年から待機状況や実績報告では、障がいのある児童を数字的には別枠にしない表現に変えています。</p>

	<p>具体的な申込の待機の中身ですが、障がいのある児童の人数の公表は、控えさせていただきたいと考えています。</p>
<p>開教育次長兼教育部長</p>	<p>現状、阪本次長からご説明させていただきましたが、いずれにしても、7月、8月の夏季休業期間の募集を再度実施するに際して、7月10日までには一定の判断をしないといけないという時間軸をもって、今後何ができるか考えてまいりたいと思います。</p>
<p>植田教育長</p>	<p>それでは、他に何かございますでしょうか。</p> <p>(「なし」の声)</p>
<p>植田教育長</p>	<p>それでは、続いて、その他の案件に移ります。</p> <p>まず、私の方から教育部主要施策の進捗及び今後の方向性についての議題を一件提案いたしたく思います。</p> <p>第1四半期を終え、第2四半期に向けて、教育委員会として参考及び反映していくため、各課よりご報告いただきたく思います。よろしく願いいたします。</p> <p>進行の流れとしては、まず、机上に配布している「教育部主要施策の進捗及び今後の方向性について」の概略の報告をさせていただきます。ただ、ご覧のとおり、大変多くの項目がございますので、この項目のなかから、本日この場で議論していただくための議題を抽出するため、優先度を把握し、そのために重要度と緊急度のマトリックスを使って、各委員で判定のうえ、集約後一番多く集まった項目に対して、議論を深めていくという流れにしたいと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>(「異議なし」の声)</p>
<p>植田教育長</p>	<p>それでは、その後に確認、質問等を含めて、ご意見、ご提言に移らせていただきますので、これよりまず、各課より短い時間で申し訳ありませんが、第1四半期を終えたところの状況についてご報告願います。</p> <p>委員の皆様は、机上のマトリックスにそれぞれ28番までの付箋を使って、各々ご判定をいただきたいと思いますと考えています。</p> <p>最初に、教育総務課からお願いいたします。</p>
<p>板谷教育総務課長</p>	<p>令和元年度に実施する主要な取組みについて、教育総務課では現在、次の5点の事業を重点的に進めています。</p> <p>1点が、特殊建築物検査に基づく施設整備</p> <p>2点が、小中学校における空調整備の計画</p>

<p>(板谷教育総務課長)</p>	<p>3点が、小中学校におけるICT環境の整備 4点が、四條畷小学校と四條畷東小学校の統合に向けた連携、安全対策、校舎改修等 5点が、第2次教育振興ビジョン(素案)の策定です。 これらについて、第1四半期では、特殊建築物検査等に基づく施設整備に関し、12条点検の業者委託、消防、防火、高架水槽点検の実施に向けた調整を行ってまいりました。 次に、空調整備に関し、事業者及び他団体からの情報収集を行っています。 次に、学校のICT整備に関し、教員が使用する校務環境の整備内容構築と委託契約の入札に向けた準備を行っているところ途上にあります。 次に、四條畷小学校、四條畷東小学校の統合に関し、通学路の安全対策と学校間連携に向けた調整に加え、施設の改修内容の決定と工事実施に向けた準備を進めています。 最後に、第2次教育振興ビジョン(素案)の策定に関し、市長部局が本年度末に予定する教育大綱(素案)策定についての情報収集にあたっていると ころです。 第2四半期には、施設の各種点検結果が順次、上がってまいりますので、それらの取りまとめと以降の更新計画の検討に加え、空調整備に関し、大まかなしと市の方針を出せるよう、重点的に取り組みたいと考えています。</p>
<p>植田教育長</p>	<p>教育総務課からの説明で、確認、質問はございますでしょうか。</p> <p>(「なし」の声)</p>
<p>植田教育長</p>	<p>それでは、マトリックス判定をお願いいたします。</p>
<p>植田教育長</p>	<p>次に、学校教育課、お願いいたします。</p>
<p>上井教育部次長兼 学校教育課長</p>	<p>続き、学校教育課における主要な取組み5項目の第1四半期の進捗について説明をさせていただきます。</p> <p>1項目め 「児童生徒の学力向上を果たす具体策の展開」については、4月実施の全国標準学力検査いわゆるNRTの結果が出ましたので、現在、各校及び事務局にて分析作業を行い、今後、PT会議等で、結果分析の報告を含め、各校の取組み発信と交流にあたってまいります。</p> <p>次に、2項目め 「英語教育の推進」については、小学校新学習指導要領の本格実施を次年度に控え、小学校への新たなALT配置を含む英語教育の更なる推進を主旨に、新規ALTの受入れ等の準備を進めています。</p> <p>また、5月には英語教育担当教員連絡会のなか、小学校の実践報告と府教育センター指導主事による研修を開催しました。</p>

<p>(上井教育部次長 兼学校教育課長)</p>	<p>3項目め 「土曜日フォローアップ教室の指標に意識した実践」については、学校との連携のもと、真にフォローの必要な児童の抽出に向け、取り組んでいるところでございます。</p> <p>先日、実態把握をねらいとした統一小テスト「土曜日チャレンジ」を実施し、今後の効果検証に活用する予定でございます。</p> <p>4項目め 「義務教育学校、少人数学級の研究」については、教育振興ビジョンに位置付けており、今後、調査研究チームを立ち上げ、これまで以上に、近隣市を中心に聞取り等を行い、その実現をめざし、成果や課題をまとめてまいります。</p> <p>最後に、5項目め 「幼児教育無償化を背景とした幼稚園就園奨励費を含む下半期以降の制度設計」については、現状、新制度導入に向けて、他の自治体の取組み事例等を集める等の準備を行っており、今後、国からの詳細内容の提示を受け、制度設計に入ります。</p> <p>以上でございますが、その他、教職員の働き方改革に資する取組みとして、「部活動外部指導員」等、人的支援に向けた研究、令和2年度使用市立小中学校教科用図書を選定、昨年度に大阪府教育庁が示した「小中学校における携帯電話の取扱いに関するガイドライン」を受け、本市のガイドライン策定等に関し、第2四半期以降も取り組む予定でございます。</p>
<p>植田教育長</p>	<p>学校教育課からの説明で、確認、質問はございますでしょうか。</p> <p>(「なし」の声)</p>
<p>植田教育長</p>	<p>それでは、マトリックス判定をお願いいたします。</p> <p>ここで申し添えますが、あくまで第1四半期終了時点での緊急度ということですので、当然時期が変われば優先順位は変化すると考えますので、その点ご留意いただきますよう、よろしくをお願いいたします。</p>
<p>植田教育長</p>	<p>次に、教育センター、お願いいたします。</p>
<p>木村教育部上席主幹(教育総務担当)兼学校教育課人権教育・教科指導担当課長兼教育センター長</p>	<p>現在、教育相談事業、適応指導教室事業、学校を支援するためのアウトリーチ型出かける教育センター事業の3つの柱として、児童生徒はもとより、保護者や教員をフォローし、サポートしており、研修場所の提供として、先日は教育相談コーディネーター等育成研修を実施したところです。</p> <p>今後、教科書センターの移設や研修室の設置等ハード整備に加え、教員研修機能の事務移管、教育センターの人員配置等ソフト面の整備を含め、教員研修機能を付加すべく教育センターの議論を重ねて、年度末には設置条例の制定を計画しています。</p>

植田教育長	<p>教育センターからの説明で、確認、質問はございますでしょうか。</p> <p>(「なし」の声)</p>
植田教育長	<p>それでは、マトリックス判定をお願いいたします。</p>
植田教育長	<p>次に、学校給食センター、お願いいたします。</p>
<p>林学校給食センター 所長</p>	<p>学校給食センターから、2点報告いたします。</p> <p>1点めの給食調理入札の実施について、現在の給食調理会社との契約が本年8月までとなっているので、業者を決定するにあたり、入札手続きを進めています。</p> <p>本市の財政状況を踏まえて、調理業務の入札に際し、留意すべき事項として、必要条件、十分条件、不用条件を定め、仕様書及び設計書を作成しているところです。</p> <p>仕様書及び設計書については、市長決裁をいただき、7月1日の入札審査会後に、市のホームページに掲載する予定です。</p> <p>2点めの給食費公会計の導入について、平成29年9月の市議会予算常任委員会のなかで、学校給食会計は、教師負担軽減や不正行為防止のため、公会計化が望ましいという要望がありました。</p> <p>これを受け、令和2年度より公会計をめざし、種々取り組んでいる状況です。</p> <p>そのなかで、給食費徴収のあり方として、保護者への混乱をできるだけ避けるため、枚方信用金庫、JA東部農協を中心に、手数料のかからない方法を検討しています。</p> <p>また、物資の納入は、地場産物優先を確立する方法を作成中です。</p>
植田教育長	<p>学校給食センターからの説明で、確認、質問はございますでしょうか。</p> <p>(「なし」の声)</p>
植田教育長	<p>それでは、マトリックス判定をお願いいたします。</p>
植田教育長	<p>次に、生涯学習推進課、お願いいたします。</p>
<p>安田生涯学習推進課 長</p>	<p>生涯学習推進課における主要な取組みとして、次の5点を進めています。</p> <p>1点めは、社会教育施設備品整備計画の策定</p> <p>2点めは、市民体育祭の開催</p>

<p>(安田生涯学習推進課長)</p>	<p>3点めは、団体事務局との新たな関係構築 4点めは、飯盛城跡国史跡指定に係る各行程の着実な実施 5点めは、公共施設予約検索システムの導入です。 第1四半期について、まず社会教育施設備品整備計画の策定に関し、他団体の情報収集、各施設にて所有する備品の洗出しを行いました。 次に、市民体育祭の開催について、各体育団体等を交えた市民体育祭懇話会の開催、市民の集いとの合同開催に向けての企画委員会に参加しました。 団体事務局との新たな関係構築について、各団体へ団体事務局事務及び補助金に関する市の方針説明を行いました。 飯盛城跡国史跡指定に係る各行程の着実な実施について、平成28年度から3年間の現地調査に関する総合調査報告書の作成を大東市教育委員会と共同で進めるとともに、地権者の調査を開始しました。 最後に、公共施設予約検索システムの導入について、施設再編室とともに必要な機能の取りまとめ及び仕様書を作るとの協議を行いました。 第2四半期について、社会教育施設の備品の取りまとめを踏まえて、更新計画の大枠を検討してまいります。併せて、公共施設予約検索システムの円滑な導入に向けて、運用面の条件整備等を重点的に図りたいと考えています。</p>
<p>植田教育長</p>	<p>生涯学習推進課からの説明で、確認、質問はございますでしょうか。</p> <p>(「なし」の声)</p>
<p>植田教育長</p>	<p>それでは、マトリックス判定をお願いいたします。</p>
<p>植田教育長</p>	<p>次に、青少年育成課、お願いいたします。</p>
<p>阪本教育部次長兼 青少年育成課長兼 主任</p>	<p>青少年育成課の主な取組みとして、5点あります。 1点めが、ふれあい教室おやつ代の公会計化と時間延長の検討 2点めが、ふれあい教室利用料滞納の縮減 3点めが、ふれあい教室の関連条例改正、驟ふれあい増設等 4点めが、子ども・若者育成支援行動計画、いわゆる引きこもり等にある方への支援計画の策定 5点めが、校庭開放のモデル実施でございます。 まず、ふれあい教室おやつ代について、おやつ代の徴収管理方法への対応策の検討が急務となっています。6月6日に、第1回ふれあい教室おやつ代等検討委員会を開催し、他市の視察の報告と現状の問題点の確認を行いました。 次に、ふれあい教室利用料の滞納について、本市の行財政改革プランにも掲げており、市民の平等、公平の観点から、収納率の向上が必至となってい</p>

<p>(阪本教育部次長兼青少年育成課長兼主任)</p>	<p>ます。全庁的に開催している債権回収検討会議での意見を参考に取り組んでいるところです。</p> <p>3点めのふれあい教室の関連条例改正について、先ほどのとおりですが、なわてふれあい教室の増設は、教育総務課から報告の学校改修と同時進行で報告させていただきます。</p> <p>4点めの引きこもり等にある方への支援計画として、明日、庁内の関係各課で構成する第1回検討委員会を開催いたします。</p> <p>最後に、校庭開放のモデル実施について、国道163号とJR片町線で市街化区域を4分割した場合、また現在進められている公共施設総合管理計画に基づく個別施設計画が順調に進んだ場合、JRの西側、また国道163号の北側地区、いわゆる岡山地区、砂地区あるいは西中野地区でボール遊びのできる公園がないことから、岡部小学校の校庭開放をもって、子どもたちを主とした遊び場を確保するものであります。</p> <p>現在、地区、地域やPTAの運営について相談を開始しましたが、それぞれのご事情もありますので、引き続き意見交換が必要な状況です。</p>
<p>植田教育長</p>	<p>青少年育成課からの説明で、確認、質問はございますでしょうか。</p>
<p>吉田委員</p>	<p>23番の「子ども・若者育成支援行動計画の策定」の件について、教育委員会としては、不登校児童を主に扱うというように、私は認識していましたが、引きこもりとなると福祉部署との連携が必要になると思いますが、この点、今後いかがお考えでしょうか。</p>
<p>阪本教育部次長兼青少年育成課長兼主任</p>	<p>一次的には、教育センターや学校現場を中心に、不登校の児童を、その後、引き続き40歳ぐらいまでの方を、不登校の延長上のなかで、青少年健全育成の立場で、引きこもりの相談支援の対応をしています。</p> <p>明日に開催予定の第1回検討委員会では、福祉部門等が集まり、最近8050問題がマスコミで取り上げられていますが、このままでは生活が困窮してしまう恐れがある方、また、人権の問題等もありますので、それらを中心に関係部署と議論してまいります。</p>
<p>木村教育部上席主幹(教育総務担当)兼学校教育課人権教育・教科指導担当課長兼教育センター長</p>	<p>教育センターの引きこもり対策に関しては、小中学生が対象となります。将来、引きこもりリスクがある場合、事前に対処するため、専門家から様々なアドバイスを受けることになっており、そのための臨床心理士に月1回来ていただき対応しています。</p>
<p>植田教育長</p>	<p>他に、確認、質問はございますでしょうか。</p>

	(「なし」の声)
植田教育長	それでは、マトリックス判定をお願いいたします。
植田教育長	次に、公民館、お願いいたします。
神本公民館長兼主任	<p>公民館の主要な取組みとしましては、2点の事業を進めています。</p> <p>1点めは、今年3月末に閉店されました市民総合センター喫茶室サンプル跡の利活用でございます。</p> <p>第1四半期の進捗状況につきましては、子育て支援、福祉、生涯学習の観点から利活用の方策について庁内検討会議を開催し、利活用案を検討しているところです。</p> <p>第2四半期には利活用案を決定し、下半期には用途に応じた必要な整備を行ない、具体的な活用を進めたいと考えています。</p> <p>2点めは、団体事務局との新たな関係の構築でございます。</p> <p>現在の進捗状況といたしましては、団体事務局事務に係る基本方針及び既存補助金のあり方について、市の方針を関係団体へ説明させていただいたところです。</p> <p>今後は、各団体の自主性、自立性の確立及び創造性が発揮できる組織づくりのため、団体と協議しながら円滑な事務の引継ぎ、必要な支援を行いたいと考えています。</p>
植田教育長	公民館からの説明で、確認、質問はございますでしょうか。
	(「なし」の声)
植田教育長	それでは、マトリックス判定をお願いいたします。
植田教育長	最後に、図書館、お願いいたします。
田中図書館長兼主任兼田原図書館主任	<p>令和元年度に実施する図書館の主要な取組みについてです。図書館では現在、次の2点の事業を進めています。</p> <p>1点が、学校図書館支援員の活用</p> <p>2点が、蔵書管理のための図書館システムの更改です。</p> <p>これらについて、第1四半期では、まず、学校図書館支援員の活用に関して、昨年度までに支援を開始した7校について継続実施を行うとともに、今年度拡充実施の四條畷小学校において、学校へ支援内容の説明と調整を実施のうえ、支援を開始しました。</p> <p>次に、図書館システムの更改に関し、調達方法決定のうえ、選定委員会を</p>

<p>(田中図書館長兼主任兼田原図書館主任)</p>	<p>設置、更新内容及び実施要領等の審議を行いました。</p> <p>第2四半期には、学校図書館支援員の活用に関し、支援拡充校の四條畷小学校について、夏季休業期間を活用した図書室の整備、また、図書館システムの更改に関しては、仕様書を含めた更新内容を決定のうえ、業者選定まで完了したいと考えております。</p>
<p>植田教育長</p>	<p>図書館からの説明で、確認、質問はございますでしょうか。</p> <p>(「なし」の声)</p>
<p>植田教育長</p>	<p>それでは、マトリックス判定をお願いいたします。</p>
<p>植田教育長</p>	<p>それでは、各委員の皆様においては、机上のマトリックスシートを確認いただき、よろしければ事務局に提出願います。</p> <p>それでは、これより、第1四半期の重要度、緊急度の高いものの抽出に移ります。</p> <p>繰り返しますが、くれぐれも第1四半期終了時点での重要度、緊急度のご判断をいただいたと思います。</p> <p>これから、ディスカッションいただくため、内容の優先順位を決定いたしたく思います。</p>
<p>植田教育長</p>	<p>(集計後)</p> <p>それでは、集計結果を共有したいと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> 3 小中学校におけるICT環境の整備 7 英語教育の推進 12 教員研修機能の具体化 16 市民体育祭の開催 18 飯盛城跡国史跡指定に係る各行程の着実な実施 23 子ども・若者育成支援行動計画の策定 24 校庭開放のモデル実施 <p>以上の7点になりますが、時間の関係もありますので、更に優先順位を考えて7点から3、4点に絞り込みたいと思います。なお年度のはじまりということで、方針、方向性に沿った取組みが誤っていないかどうかの確認の意味を込めて、議論の際はご検討いただければと考えています。</p>
<p>山本教育長職務代理者</p>	<p>教育環境整備という点、子どもを中心とした点、地域教育、青少年健全育成という点から</p> <ul style="list-style-type: none"> 3 小中学校におけるICT環境の整備

(山本教育長職務代理者)	<p>1 2 教員研修機能の具体化 1 6 市民体育祭の開催 をあげたいと思います。</p>
吉田委員	<p>私も山本教育長職務代理者と同じ観点で、緊急性も考えた時に、 1 6 市民体育祭の開催 1 8 飯盛城跡国史跡指定に係る各行程の着実な実施 をあげたいと思います。</p>
小田委員	<p>私も、 3 小中学校における I C T 環境の整備 1 6 市民体育祭の開催 1 8 飯盛城跡国史跡指定に係る各行程の着実な実施 をあげたいと思います。</p>
竹内委員	<p>2 4 校庭開放のモデル実施 についても、子どもたちの遊び場となると、緊急性を感じます。</p>
植田教育長	<p>それでは、各委員の意見を踏まえて集約しますと 3 小中学校における I C T 環境の整備 1 6 市民体育祭の開催 1 8 飯盛城跡国史跡指定に係る各行程の着実な実施 の 3 点に加えて、時間に余裕がありましたら、 1 2 教員研修機能の具体化 2 4 校庭開放のモデル実施 を議論したいと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>(「異議なし」の声)</p>
植田教育長	<p>それでは、まず、3 小中学校における I C T 環境の整備について、事務局の方から追加説明をしていただき、委員の皆様より、ご意見、ご提言をお願いします。</p>
板谷教育総務課長	<p>3 小中学校における I C T 環境の整備について、詳細に説明いたします。 学校内の I C T 環境について、現在、大半のパソコンが、Windows 7 であること、また、来年度から小学校でプログラミング学習が本格実施されること、この 2 点を受け、まず教員が使用している校務環境と小中学校のパソコンルームの整備を今年度内に実施する予定です。 先に進めるのが、教員使用の校務用パソコンの更改です。</p>

<p>(板谷教育総務課長)</p>	<p>現在、各学校では、子どもたちの成績や個人情報进行操作している校務内部の情報、また、インターネットを活用しながら外部との通信、教材等をダウンロードする校務外部の情報、両方を使って仕事をされています。</p> <p>これについて、より強固にセキュリティをかけるという観点、そして業務の効率をあげるという観点から、1台のパソコンで仮想環境を設け、成績の情報、インターネットを経由する情報、両方を操作できる環境を構築してまいります。</p> <p>併せて、ネットワークも再構築のうえ、成績情報、個人情報をクラウド化し、外部のデータセンターにデータを置くこととします。これにより、災害時のBCP対応にもつながります。</p> <p>2点めが、パソコンルームの整備です。</p> <p>現在、小学校には各校20台、中学校には各校40台のパソコンを配備していますが、今回の整備により、小中学校とも40台以上ずつの整備をめざしています。機器については、タブレットとしても使用できる2in1、四條畷小学校については、モデル的にそれらの機器を普通教室でも活用できるよう、無線LAN環境の増強とスクリーン、プロジェクター等の機器を整備予定です。</p> <p>以上の整備により、新学習指導要領に掲げてられる主体的、対話的、深い学びの展開に活用いただければと考えています。</p>
<p>植田教育長</p>	<p>それでは、教育総務課の説明について、ご意見、ご提言をいただければと思います。</p>
<p>山本教育長職務代理者</p>	<p>ICT環境の整備について、とても予算がかかると考えています。また、日々更新しなければなりません。</p> <p>校務用パソコンを更新できることは、教員の働き方改革が進むのではないかと思います。</p> <p>プログラミング学習の関連からいいますと、子どもたちがパソコンに触れる機会をより多く持たないといけないことから、更にICT環境を整備しなければなりません。</p> <p>各小中学校で40台の整備となり、ある一定の進展はあると感じますが、四條畷小学校のモデル的なことが各学校にも定着するとタブレットを使用する機会が増えますので、無線LANの拡充を図ることも大事だと考えます。</p> <p>四條畷小学校のモデル的な内容の成果を詳細に検証し、全学校に広めていただければと思います。</p> <p>一点、質問があります。プログラミング教育についての現在の進捗状況について教えてください。</p>

<p>木村教育部上席主幹(教育総務担当)兼学校教育課人権教育・教科指導担当課長兼教育センター長</p>	<p>プログラミング教育に対する進捗状況について、昨年12月に大阪電気通信大学との包括的なプログラミングに係る連携協定を締結し、それに基づき、昨年電通大学の方々に、田原小学校、四條畷南小学校でプログラミングの授業を研修いただいています。</p> <p>その前に、教員にも、電通大学内設備をお借りして、教員向けの研修会を行いました。</p> <p>今年度については、どの学校も必ず実施するよう、それぞれの学校で、5月28日に担当者を集めて担当者会を開催し、なぜプログラミング教育を行うのか、また、どのようなことを準備すべき、そして、今年中に一度何かを必ず実践するよう学校に伝えている状況です。</p> <p>今後、電通大学の協力を得ながらも、それぞれの学校で、どこかの学年で実践するよう計画している段階です。</p>
<p>吉田委員</p>	<p>今の説明で、各学校で計画されていることですので、それらを集約して全校同じようなかたちで進めていくということによろしかったでしょうか。</p>
<p>木村教育部上席主幹(教育総務担当)兼学校教育課人権教育・教科指導担当課長兼教育センター長</p>	<p>国から様々な指導事例が提示されていますが、それぞれの学校の取組みを一度集約して、本市として事例集的なものの作成も検討しているところです。</p>
<p>竹内委員</p>	<p>新しい取組みなので、一度に全学年の実施となると難しいと思いますが、今年度は対象学年等、どのように考えていますか。</p>
<p>木村教育部上席主幹(教育総務担当)兼学校教育課人権教育・教科指導担当課長兼教育センター長</p>	<p>市で学年を指定せずに、各学校で考えていただくことを原則としています。それぞれの学校で、カリキュラムマネジメントの考えのもと、行っていたければと思っています。</p>
<p>小田委員</p>	<p>先日の総合教育会議でも説明がありましたが、機器を使用しないと子どもたちは勉強できないと思います。</p> <p>今回の整備により、子どもたち1人1台がタブレットを使用できるというのはとても喜ばしいことだと思っています。</p> <p>一点、質問があります。</p> <p>実際、子どもたちが使用している時にどのような表情をしていますか。</p>

<p>木村教育部上席主幹(教育総務担当)兼学校教育課人権教育・教科指導担当課長兼教育センター長</p>	<p>授業の様子を拝見した時に、自分が考えたことがそのまま実現できれば、それは達成感を感じ、実現できなければどうすればできるようになるのかという本質的な思考を育む取組みを進めており、興味を持って学習に取り組んでいる様子がありました。</p>
<p>開教育次長兼教育部長</p>	<p>ICT環境整備については、プログラミング教育を進めていくという前提があり、そのなか、教育総務課が担っている環境整備、学校教育課が担っている教育実践、また、それらを踏まえた学校現場との共有、連携が重要な視点でありますので、以上の観点よりご意見をいただいたと理解いたしました。</p> <p>また、それらに基づいて、論理的思考の醸成を進めてまいりたいと思います。</p> <p>校務用システムについては、教員の働き方改革にも着眼のうえ、成果の検証を行いつつ、実践につなげていくことから、早期の環境整備を進めていきます。</p> <p>四條畷小学校においては、モデル的に無線LANの強化にあたりますので、一定の評価、検証のうえ、計画的に他の学校につなげていくということで進めていきたいと考えています。</p>
<p>山本教育長職務代理者</p>	<p>何年か前に教育委員会の視察で、東京のICT、プログラミング教育の先進校に行きました。</p> <p>四條畷市でも同じようにできればと思っていましたが、機会があれば、現場の先生方に先進事例を学ぶような研修をしていただく、また、視察にさせていただくということが大切だと思います。</p> <p>電通大学と連携協定を結び、大学に先生方が行かれる等実際に行われていますが、実際に連携し模擬授業をしていただくだけでは、プログラミング教育が子どもたちに定着しないと思います。</p> <p>日々の教育活動のなかでこそ定着するので、教員自身がそのような思考を持たないと、子どもたちには定着しないとも考えます。</p> <p>ぜひ、先生方の研修も継続的にしていくことが、大事だと思います。</p> <p>ICT環境も実際に使用しなければ、意味がありませんので、そのことも併せてお願いいたします。</p>
<p>植田教育長</p>	<p>私も一点申し上げますと、コンピュータがなぜ動くかというところまで、まさに教員がしっかり身に付けて、子どもたちの疑問に答えられるような方向で、教育研修、先進事例の教育を含めて、進めていければと思います。</p>
<p>上井教育部次長兼学校教育課長</p>	<p>教員が先進事例を学ぶことについては、そのような機会は必要であり、下半期には、そのような研修も含めて検討していきたいと考えています。</p>

吉田委員	<p>全校に無線LANを構築されるということで、特に中学校では携帯電話を持ち込む子どもが増えるのではと思いましたが、そのような心配はないのでしょうか。</p>
上井教育部次長兼 学校教育課長	<p>小中学校の携帯電話の対応については、大阪府のガイドラインを受け、本市としての方針を学校現場、保護者の意向を伺いながら、今後しっかりと継続的に議論し、ルール作りができるように、進めてまいります。</p>
竹内委員	<p>私も同じく東京のICTの先進校に視察に行きましたが、その学校ではソフトの民間業者と連携して、授業が行われていました。 そのように民間業者との連携もあれば様々な有効活用できると思います。</p>
上井教育部次長兼 学校教育課長	<p>民間の活力も視野に入れながら、進めてまいりたいと思います。</p>
植田教育長	<p>他に、何かご意見、ご提言、ございますでしょうか。</p> <p>(「なし」の声)</p>
植田教育長	<p>それでは、次の項目に移ります。</p> <p>16 市民体育祭の開催について、事務局の方から追加説明をしていただきます。</p>
安田生涯学習推進課 長	<p>16 市民体育祭の開催について、詳細に説明いたします。</p> <p>市民体育祭においては、現在市民体育祭懇話会を開催し、協議を重ねているところです。</p> <p>懇話会では、大阪電気通信大学、スポーツ少年団本部、体育協会、体育振興協議会、スポーツ推進委員、そして市が参画して、6団体で議論を進めています。</p> <p>また、市民の集いと合同開催をめざしているので、市民の集い企画委員会にも参画し、企画委員会のご意見を踏まえて、具体的な協議内容を考えている途上にあります。</p> <p>当初、市民体育祭懇話会で、四條畷西中学校のグラウンドや市民総合体育館の使用できる場所を最大限に活かして、大規模な競技内容の検討案もありましたが、今回、初めて市民の集いと合同開催いたしますので、人の動線が安全かつ円滑に行えるよう、また、雨天時に安全に競技会場を変更できるよう、コンパクトに競技を開催したいと考えています。</p> <p>具体的には、会場として、四條畷西中学校のグラウンドと体育館の使用を</p>

<p>(安田生涯学習推進課長)</p>	<p>検討しています。</p> <p>雨天時には、西中学校グラウンドで行う競技を市民総合体育館のメインアリーナに移し、競技を行いたいと考えています。</p> <p>実施種目については、今回のコンセプトとして、市民の集いと相乗効果を狙いつつ、普段スポーツに慣れ親しんでいない方にも気軽に参加いただける内容としたく、パラリンピックの種目でもあるボッチャの体験や2人か4人のグループになって行うミニ綱引き、玉入れ、お玉運びリレー等楽しみながら参加していただけるものを考えています。</p> <p>また、電通大学のご協力もいただき、体力測定を予定しています。</p>
<p>植田教育長</p>	<p>それでは、生涯学習推進課の説明について、ご意見、ご提言をいただければと思います。</p>
<p>吉田委員</p>	<p>2つの行事を1つにして行うのは、初めてのことで、とても大変なことだと思います。</p> <p>一点、質問があります。時間帯としては、どのように考えていますでしょうか。</p> <p>今までですと午前中に幼児の演技が西中学校グラウンドで行われていましたが、そのようにプログラムについて、どのような予定になっているのでしょうか。</p>
<p>安田生涯学習推進課長</p>	<p>現在、具体的な内容について協議中ですが、現在考えている内容としては、西中学校グラウンドを午後から使用して、競技を実施したいと思っています。</p> <p>西中学校体育館については、午前中から体力測定等の実施をしたいと思っています。</p>
<p>山本教育長職務代理人</p>	<p>市民体育祭の運営部隊として、5団体に任せてよいのではないかと思います。</p> <p>団体等の関係性、市との関係性もありますので、体育祭を開催することで、更に50周年の体育祭がうまく運営されるという基盤になればと考えています。</p> <p>一点、質問があります。前回の教育委員会定例会の時に、今年度の市民体育祭については、市制50周年の市民体育祭のプレ開催の位置付けとの説明がありました。</p> <p>従前の市民体育祭が諸般の事情で中断され、更に市制50周年記念の体育祭を開催するにあたり、今回のプレ開催と50周年時の体育祭との整合性というのはどのように考えられているのでしょうか。</p>

安田生涯学習推進課長	<p>今回はプレ開催という位置付けのなか、50周年に向けて着実に市民体育祭を開催したいと考えています。</p> <p>その先にステップアップとして、50周年の市民体育祭実施を考えたいと思っています。</p>
小田委員	<p>気楽に参加できるというコンセプトというのはとても良いと思います。</p> <p>確認ですが、以前の市民体育祭は、地区で体育振興協議会の方々がメンバーを集めてリレー等の種目に参加していましたので、前もって地区で声をかけず、市民にオープンに参加するという点でよろしかったでしょうか。</p>
安田生涯学習推進課長	<p>8月の広報で募集を掲載したいと思っていますが、懇話会のなかで、体育振興協議会にも参加いただいていますので、地区からもグループで参加をお願いしたいと考えています。</p>
植田教育長	<p>市民体育祭、市民の集いと初めての一体の開催ということで、課題もあるかと思いますが、ぜひ先程のご指摘のとおり、プレ50周年を踏まえて、進めていただきたいと思います。</p>
開教育次長兼教育部長	<p>市民体育祭、市民の集いの合同開催について、もともと教育委員会では親和性と相乗効果の2点をもとに進めてきましたが、本日のご意見をいただくなか、それだけでなくプログラムのつながり、流れ、動線についても、検討したく考えています。</p> <p>また、プレと来年度の50周年しか、見据えていません。</p> <p>中長期的な視点は持ち合わせておりませんので、それらを含めて協力団体とともに、意見交換を行っていきたいと考えています。</p> <p>一年間体育祭を休止し、再度行うことになりましたので、なかなかさぐりな状況ですが、今回のご意見をいただき、一定団体との協議も進めてまいりたいと考えています。</p>
吉田委員	<p>協力団体のなかに、電通大学も入られています。市民体育祭ではどのように担っていただくことになるのでしょうか。</p>
安田生涯学習推進課長	<p>体力測定の実施のご協力をいただくこととなっています。</p> <p>その他の競技種目についても、様々な観点からご意見をいただいているところです。</p> <p>学生の方々にも参画いただき、ともに協働を図りたいと思っています。</p>
植田教育長	<p>他に、何かご意見、ご提言、ございますでしょうか。</p>

<p>植田教育長</p>	<p>(「なし」の声)</p> <p>それでは、次の項目に移ります。</p> <p>18 飯盛城跡国史跡指定に係る各行程の着実な実施について、事務局の方から追加説明をしていただきます。</p>
<p>村上生涯学習推進課上席主幹（生涯学習推進担当）兼主任</p>	<p>18 飯盛城跡国史跡指定に係る各行程の着実な実施について、詳細に説明いたします。</p> <p>大きく3点ございます。</p> <p>1点めは、総合調査報告書です。平成28、29、30年度の3箇年での曲輪のなかでの発掘調査で、また、四條畷市では石垣が多くあり、その測量調査、それらが大東市教育委員会とともに、1冊の本にまとめることが発掘調査の最終段階にあたり、今年度末刊行をめざして行っています。</p> <p>2点めとして、指定に向けて土地所有者が多くいますので、その方々の指定の同意と市が管理団体になる同意を得ていく作業がございます。</p> <p>昨年度、飯盛城の指定予定範囲を文化庁の調査官、専門委員の方々とともに、決定いたしましたので、それぞれの筆ごとの登記簿を法務局から取り寄せていますが、更に最新のものを先々月取り寄せて、そこに書かれている住所の市町村に戸籍等を照会して、お住みになっている方を個別に訪問して説明させていただく予定です。</p> <p>3点めとして、市民の方、市外の方に飯盛城の歴史的な価値を理解していただく、また気分を盛り上げていただくため、昨年引き続き第2回として、7月20日に市民総合センターにて「クローズアップ飯盛城2019」を開催いたします。</p> <p>専門家向けではなく一般向けのものとなっており、また、例年秋に四條畷学園にて「関西城郭サミット」を開催しています。</p> <p>このイベントは、飯盛城をもう少しグローバルにして報告することになっています。以上です。</p>
<p>植田教育長</p>	<p>それでは、今の説明について、ご意見、ご提言をいただければと思います。</p>
<p>山本教育長職務代理者</p>	<p>本日の新聞に掲載されていましたが、大東市が単独で取り組んでいる印象を受けました。</p> <p>本市のこの事業の具体的な体制について、教えてください。</p> <p>また、土地の所有者に対する承諾を取るのに、どれぐらいの人数の方がいるのでしょうか。</p> <p>その他に、全体の行程と今年度の行程についても教えていただけますでしょうか。</p>

<p>村上生涯学習推進 課上席主幹（生涯学 習推進担当）兼主任</p>	<p>生涯学習推進課のなかに、文化財担当が私ともう1人おり、2人で行っています。</p> <p>地権者に説明に伺うには、1人ではいけないので、2人体制で行うことを考えています。</p> <p>大阪府のOBで、文化財行政について詳しい方を公募して、採用の手続きを進めてまいりたいと考えています。</p> <p>登記簿上の地権者数として、指定範囲は50筆あり、そのなかで1筆で複数の所有者もおり、登記簿上は32人です。</p> <p>ただし、大正生まれの方もいますので、その権利者すべての同意が必要となり、詳しい実数は各自治体に照会をかけている状況です。</p> <p>行程については、今年度は必ず完成しなければならないものは、総合調査報告書です。</p> <p>これは、国の補助金を活用していますので必須です。</p> <p>発掘担当者、専門委員、学識経験者の方々に報告書の作成を順調に行っていると思っています。</p> <p>指定については、最終的に文化庁へ総合調査報告書以外に意見同意書を提出しなければなりません。</p> <p>令和3年度に指定予定となっていますので、令和3年1月に申請書を文化庁へ提出し、その時の必ず同意書を添付しなければいけません。</p> <p>順調にいくと、令和3年10月に指定となります。</p> <p>実は、それは第1段階で、指定を受けると、次は保存活用計画の作成に移ります。</p> <p>まず専門委員の方を選定し、計画を立てて、更にその後どのように整備して皆さんにご覧いただけるかということを考えます。</p> <p>以上の長期にわたって行うことになっています。</p>
<p>吉田委員</p>	<p>想像ができないほどの多くの作業にご苦労を感じます。</p> <p>できるかできないかというのではなく、しなければならないという緊張感があり、報告書作成の期限等もありますので、引き続き順調にいくことを願っています。</p>
<p>竹内委員</p>	<p>大変ご苦労される事業と感じます。</p> <p>一点、質問があります。地権者が遠くに住まれているということも考えられるということでしょうか。</p>
<p>村上生涯学習推進 課上席主幹（生涯学 習推進担当）兼主任</p>	<p>そういう方もおられます。ただ、登記簿上で把握している方でいうと一番遠いところで東京、他に奈良、兵庫に住んでいる方がいらっしゃいます。</p> <p>大東市では、地権者が海外に住んでいるということも把握しています。</p>

開教育次長兼教育部長	委員のご意見もありましたように、期限を重視したスケジュール感をもって進めてまいりたいと思います。
植田教育長	他に、何かご意見、ご提言、ございますでしょうか。 (「なし」の声)
植田教育長	3項のご意見、ご提言ありがとうございます。 残り2項も行いたいのですが、時間の都合上、一度ここで区切らせていただきたいと思いますのですが、いかがでしょうか。
山本教育長職務代理者	その他1点あります。9 義務教育学校、少人数学級の研究についても、学校再編整備計画に関連しており、計画でいう平成32年度までに一定の義務教育学校の議論をしないといけないということになっています。 そういう意味で、年度の決められているものですので、重要かつ緊急性は少ないですが、研究、資料集めについて時間のかかるとお思いますので、一定進められるようにしていかなければならないと考えます。
上井教育部次長兼学校教育課長	学校再編計画のなかにも入っていた義務教育学校、小中一貫校の研究について進めていかなければならないと認識しています。 昨年度も、学校統廃合で、教育委員皆様には視察に行ってくださいました。今年度下半期にも視察を予定されいただき、事務局の調査、研究と合わせて、進めてまいりたいと思います。
植田教育長	他に、何かございますでしょうか。 (「異議なし」の声)
植田教育長	いただきましたご意見、ご提言を踏まえて、第2四半期に向けて、教育委員会一丸となって取り組んでまいりたいと思います。 これを持ちまして、教育部が進めている主要な案件についての第1四半期末におけるご意見、ご提言を賜り、委員の皆様、ありがとうございました。
植田教育長	それでは、その他の案件に移ります。 (事務局 その他案件 報告) ・教科書採択にかかる進捗状況の報告について ・学校再編に伴う対象校の交流について

<p>木村教育部上席主幹(教育総務担当)兼学校教育課人権教育・教科指導担当課長兼教育センター長</p>	<p>教科書採択に係る進捗状況の報告について、これまでの経過報告と今後の取組みを報告します。</p> <p>まず、4月に教育委員会から選定委員会に諮問を受け、5月28日に第1回めの選定委員会のなか、小学校における教科書については調査研究するために3人の調査員を決め、その調査員会において調査研究を行うとし、これを受けまして、調査員を各小学校長より教員のなかから推薦していただくこととしました。</p> <p>その後、6月4日に第1回調査員全体会を開催し、3人で構成された調査員により、令和2年度使用小学校教科用図書の調査研究について、今後3回程度協議を重ね、選定委員会へ報告をお願いしています。</p> <p>続き、6月20日に開かれた第2回選定委員会においては、調査員全体会の報告、調査研究報告書及び学校意見書の取扱いについて審議しました。</p> <p>そのなか、中学校の令和2年度使用教科用図書については、調査員は置かず、4年間の使用実績を踏まえつつ、平成27年度調査研究の内容や資料等を活用して答申することを確認しました。</p> <p>次に、教科書移動展示は、5月30日から小学校を2巡する7月18日まで移動展示を行っています。</p> <p>市役所内教科書センターにおいて、教科書法定外展示が6月10日から13日までの4日間、教科書法定展示が6月14日から7月3日までとなります。</p> <p>このことは、市ホームページや広報誌等で市民の皆様にも周知しており、現在閲覧にお越しいただいています。</p> <p>今後は、7月初旬に各種目の調査員会からの調査研究の報告を班長から選定委員会が受けることになっており、その報告を受け、第3回選定委員会を開催し、7月の教育委員会で答申する内容について議論してまいります。</p>
<p>木村教育部上席主幹(教育総務担当)兼学校教育課人権教育・教科指導担当課長兼教育センター長</p>	<p>続き、学校再編に伴う対象校の交流についてでございます。</p> <p>学校再編に係る東小学校と曙小学校の統合に向けた取組みについて、報告します。</p> <p>まず、教員間の交流では、両校の教頭先生を中心に統合に向けた諸課題について整理し、議論が必要な内容は各校持ち帰って、職員会議等で議論、また持ち寄って検討するという作業を続けています。</p> <p>次に、児童間交流について、5月21日には合同遠足がありました。</p> <p>29日の東小学校の避難訓練では四條曙小学校の創立記念日を利用し、土砂災害を想定し曙小学校へ避難を行いました。</p> <p>その後、保護者へ引渡し訓練も行っています。</p> <p>また、支援学級の児童、保護者が環境の変化に戸惑いなく対応できるよう学校訪問を数回にわたり開催しています。</p> <p>さらに、PTA間でも定期的に議論を進め、PTA役員選出の調整や役員</p>

<p>植田教育長</p>	<p>免除規約の確認、今後の交流事業について話し合っています。</p> <p>なお、新たな通学路の整備については、昨年度末に実施したアンケートを重ねて、改めて意向調査を行い、意見集約を今週中にまとめ要望書として提出されると聞き及んでいます。</p> <p>提出後は再び精査のもと、予算措置を含めて対応を検討してまいります。</p> <p>他に、追加報告がありましたら、お願いします。</p> <p>(「なし」の声)</p>
<p>植田教育長</p>	<p>それでは、以上で、本日予定の案件の審議は、すべて終了しました。</p> <p>これをもちまして、定例会を閉会いたします。</p> <p>ご苦労さまでした。</p>

上記会議の顛末を記載し、その相違ないことを証するためここに署名する。

令和元年6月26日

四 條 畷 市 教 育 長

植 田 篤 司

四條畷市教育委員会教育長職務代理者

山 本 博 資